



## 平成 23 年 11 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 10 月 5 日

上場会社名 ユニオンツール株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6278 URL <http://www.uniontool.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 片山 貴雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 田口 秀雄 (TEL) 03 (5493) 1001  
 四半期報告書提出予定日 平成 23 年 10 月 14 日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成 23 年 11 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 8 月 31 日)

#### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 11 月期第 3 四半期	13,376	△4.9	1,734	△17.0	1,862	△17.8	1,351	△11.1
22 年 11 月期第 3 四半期	14,062	22.6	2,089	—	2,263	—	1,520	—

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 11 月期第 3 四半期	62.14	—
22 年 11 月期第 3 四半期	68.03	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 11 月期第 3 四半期	49,182	46,707	95.0	2,192.62
22 年 11 月期	50,032	47,015	94.0	2,156.43

(参考) 自己資本 23 年 11 月期第 3 四半期 46,707 百万円 22 年 11 月期 47,015 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 11 月期	—	15.00	—	20.00	35.00
23 年 11 月期	—	15.00	—	—	—
23 年 11 月期(予想)				15.00	30.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

### 3. 平成 23 年 11 月期の連結業績予想 (平成 22 年 12 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通 期	17,405	△7.5	2,130	△19.3	2,348	△18.3	1,452	△26.3	67.10	

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

本日付で平成 23 年 11 月期通期の連結業績予想を修正しております。「業績予想の修正に関するお知らせ」を公表しておりますので、ご覧ください。

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.4「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

23年11月期3Q	23,098,490株	22年11月期	23,098,490株
-----------	-------------	---------	-------------

② 期末自己株式数

23年11月期3Q	1,796,255株	22年11月期	1,296,194株
-----------	------------	---------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

23年11月期3Q	21,753,359株	22年11月期3Q	22,350,243株
-----------	-------------	-----------	-------------

(※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示)

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

(※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項)

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1.	当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	2
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	3
2.	その他の情報	4
(1)	重要な子会社の異動の概要	4
(2)	簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3)	会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3.	四半期連結財務諸表	5
(1)	四半期連結貸借対照表	5
(2)	四半期連結損益計算書	7
	【第3四半期連結累計期間】	7
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4)	継続企業の前提に関する注記	9
(5)	セグメント情報	9
(6)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
4.	補足情報	12
(1)	部門別の状況	12
(2)	海外売上高	12
(3)	為替換算レートと為替変動の影響試算額	12

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間においては、前四半期から続く東日本大震災による自動車生産の停止と、欧米の財政リスクの高まりに伴う円高の進展があり、国内外の景況が非常に不透明感高く推移しました。

当社に関連深い電子機器工業界では、夏場の需要が力強さに欠け、全体で様子見の状況となりました。

このような状況のもと、当社グループは、中国市場での取り組みを強化するとともに、より効率を高める製品やサービスの提供を心がけ、売上高と利益の確保に努めました。この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は13,376百万円(前年同四半期比4.9%減)となり、連結営業利益は1,734百万円(同17.0%減)となっております。その他、連結経常利益は1,862百万円(同17.8%減)、連結四半期純利益は1,351百万円(同11.1%減)となっております。

次に、セグメントごとの業績ですが、次のとおりとなっております。以下では、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めて記載しております。

日本につきましては、スマートフォンなど動きの良い製品が引続き堅調に推移したほか、その他の従来製品の製造も徐々に回復しつつありましたが、大きな災害の各所への影響はやはり大きく、例年のような力強さに欠ける動きとなってしまいました。このようなことから、日本での売上高は9,866百万円、セグメント利益は1,201百万円となっております。

アジアにつきましては、景気全般に先行き不透明感が高まりつつありますが、生活家電向けなどの需要が旺盛に推移しております。当社グループも現地工場の効率改善・能力増強を続けており、業績の改善・拡大を図っております。アジアでの売上高は5,721百万円、セグメント利益は428百万円となっております。

北米や欧州では、主力のPCBドリル需要が低位安定の状況にあり大きな動きはありませんでした。北米での売上高は750百万円、セグメント利益は75百万円、欧州での売上高は590百万円、セグメント利益は17百万円となっております。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債および純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の流動資産は、前連結会計年度末に比べ1,669百万円減少し20,421百万円となりました。これは主に、有価証券の1,963百万円の減少によるものであります。

固定資産は、同818百万円増加し28,760百万円となっております。これは主に、新本社ビル建設に係る支出の増加に伴い建設仮勘定が1,090百万円増加したことによります。

このようなことから、当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ850百万円減少し49,182百万円となっております。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ542百万円減少し2,474百万円となっております。未払法人税等の792百万円の減少および賞与引当金の349百万円の増加が、主な変動要因となっております。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ307百万円減少し46,707百万円となっております。主な変動要因は、利益剰余金の588百万円の増加と、減算項目である自己株式の828百万円の増加であります。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ691百万円減少し4,962百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1,403百万円の収入（前年同四半期は3,823百万円の収入）となっております。主なキャッシュ・イン項目は、税金等調整前四半期純利益1,894百万円、減価償却費1,462百万円であり、主なキャッシュ・アウト項目は、たな卸資産の増加額576百万円および法人税等の支払額1,470百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは508百万円の支出（前年同四半期は4,463百万円の支出）となっております。主なキャッシュ・イン項目は、有価証券の売却及び償還による収入4,147百万円であり、主なキャッシュ・アウト項目は、有形固定資産の取得による支出1,789百万円、有価証券の取得による支出1,000百万円および投資有価証券の取得による支出1,608百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、自己株式の取得による支出828百万円と配当金730百万円の支払いにより1,558百万円の支出（前年同四半期は644百万円の支出）となっております。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月6日に公表いたしました平成23年11月期の通期業績予想を今回修正させていただきました。本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

#### ①簡便な会計処理

##### たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行なう方法によっております。

#### ②特有な会計処理

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### 会計処理基準に関する事項の変更

##### 「資産除去債務に関する会計基準」の適用

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しています。

これによる営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

#### 表示方法の変更

##### （四半期連結損益計算書）

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しています。

前第3四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めていた「固定資産賃貸料」は、重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の営業外収益の「その他」に含まれる「固定資産賃貸料」は、29,498千円であります。

##### （四半期連結キャッシュ・フロー計算書）

前第3四半期連結累計期間において、財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めていた「自己株式の取得による支出」は、重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。

なお、前第3四半期連結累計期間の財務活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含まれる「自己株式の取得による支出」は、302千円であります。

#### 追加情報

##### （賃貸資産に係る減価償却費等の計上方法の変更）

前連結会計年度まで賃貸資産に係る減価償却費は、販売費及び一般管理費に計上しておりましたが、金額の重要性が増したこと、また、費用と収益の対応関係を明確にするため、当連結会計年度より営業外費用の「減価償却費」として計上する方法に変更しております。

この結果、従来と同一の方法によった場合と比較して、販売費及び一般管理費が32,647千円減少し、営業利益は同額増加しましたが、営業外費用が同額増加しているため、経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,373,660	4,596,635
受取手形及び売掛金	6,190,894	6,145,515
有価証券	2,573,164	4,536,779
商品及び製品	3,904,904	3,694,886
仕掛品	769,533	729,043
原材料及び貯蔵品	1,760,957	1,755,491
その他	872,536	656,799
貸倒引当金	△23,804	△24,075
流動資産合計	20,421,846	22,091,076
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,653,725	3,810,189
機械装置及び運搬具(純額)	7,606,382	7,839,838
工具、器具及び備品(純額)	182,740	195,859
土地	6,277,327	6,280,834
建設仮勘定	1,961,075	870,717
有形固定資産合計	19,681,252	18,997,439
無形固定資産	67,455	80,493
投資その他の資産		
投資有価証券	8,036,773	8,272,468
繰延税金資産	142,764	72,088
その他	832,102	518,888
投資その他の資産合計	9,011,640	8,863,446
固定資産合計	28,760,348	27,941,378
資産合計	49,182,194	50,032,455

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	828,481	771,208
未払費用	527,167	531,360
未払法人税等	148,910	941,544
賞与引当金	522,810	173,658
その他	131,543	236,010
流動負債合計	2,158,912	2,653,783
固定負債		
長期未払金	244,518	244,518
その他	71,076	119,058
固定負債合計	315,594	363,576
負債合計	2,474,506	3,017,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,998,505	2,998,505
資本剰余金	3,037,239	3,037,338
利益剰余金	47,869,687	47,281,016
自己株式	△4,451,844	△3,623,622
株主資本合計	49,453,587	49,693,237
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	658,147	772,100
為替換算調整勘定	△3,404,047	△3,450,242
評価・換算差額等合計	△2,745,900	△2,678,142
純資産合計	46,707,687	47,015,095
負債純資産合計	49,182,194	50,032,455



(2) 四半期連結損益計算書  
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)
売上高	14,062,501	13,376,865
売上原価	9,271,348	8,791,903
売上総利益	4,791,153	4,584,961
販売費及び一般管理費	2,701,686	2,850,272
営業利益	2,089,467	1,734,689
営業外収益		
受取利息	47,081	41,178
受取配当金	48,674	93,270
固定資産賃貸料	—	47,602
為替差益	10,900	—
その他	103,415	95,301
営業外収益合計	210,072	277,352
営業外費用		
支払利息	—	636
有価証券売却損	—	5,640
売上割引	25,671	16,578
為替差損	—	78,716
減価償却費	—	32,647
その他	9,916	15,747
営業外費用合計	35,587	149,967
経常利益	2,263,951	1,862,075
特別利益		
貸倒引当金戻入額	21,737	9,752
固定資産売却益	—	42,209
特別利益合計	21,737	51,961
特別損失		
固定資産除売却損	31,161	19,942
特別損失合計	31,161	19,942
税金等調整前四半期純利益	2,254,528	1,894,094
法人税、住民税及び事業税	1,072,852	679,078
法人税等調整額	△338,703	△136,735
法人税等合計	734,148	542,343
少数株主損益調整前四半期純利益	—	1,351,750
四半期純利益	1,520,379	1,351,750

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年12月1日 至平成22年8月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年12月1日 至平成23年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,254,528	1,894,094
減価償却費	1,608,275	1,462,890
賞与引当金の増減額(△は減少)	380,887	348,312
受取利息及び受取配当金	△95,756	△134,449
支払利息	339	636
為替差損益(△は益)	△79,314	△20,680
固定資産除売却損益(△は益)	31,161	△22,266
売上債権の増減額(△は増加)	272,609	△4,694
たな卸資産の増減額(△は増加)	6,807	△576,268
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,650	44,690
未払消費税等の増減額(△は減少)	△9,968	△53,070
その他	△508,857	△199,290
小計	3,857,061	2,739,905
利息及び配当金の受取額	96,064	134,468
利息の支払額	△339	△636
法人税等の支払額	△129,304	△1,470,102
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,823,482	1,403,634
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の売却及び償還による収入	2,656,880	4,147,921
有形固定資産の取得による支出	△1,947,047	△1,789,285
有価証券の取得による支出	△3,324,068	△1,000,000
投資有価証券の取得による支出	△1,873,971	△1,608,820
その他	24,286	△258,366
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,463,920	△508,549
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	—	△828,473
配当金の支払額	△643,858	△730,555
その他	△246	151
財務活動によるキャッシュ・フロー	△644,105	△1,558,877
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23,289	△27,838
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,307,833	△691,630
現金及び現金同等物の期首残高	7,299,653	5,653,764
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,991,820	4,962,133

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報

## 【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

	切削工具事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	4,176,893	246,756	4,423,649	—	4,423,649
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	290,849	290,849	(290,849)	—
計	4,176,893	537,605	4,714,498	(290,849)	4,423,649
営業利益又は営業損失(△)	889,795	△31,442	858,353	(113,718)	744,634

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	切削工具事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	13,082,567	979,934	14,062,501	—	14,062,501
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	633,551	633,551	(633,551)	—
計	13,082,567	1,613,486	14,696,053	(633,551)	14,062,501
営業利益	2,159,670	125,884	2,285,555	(196,088)	2,089,467

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各事業区分の主要製品

事業区分	主要製品
切削工具事業	PCBドリル(プリント配線板用超硬ドリル)、その他
その他の事業	直線運動軸受、専用機、測定器、その他

## 【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	2,455,009	246,466	1,620,942	101,230	4,423,649	—	4,423,649
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,280,798	62	51,898	19	1,332,778	(1,332,778)	—
計	3,735,808	246,529	1,672,840	101,250	5,756,428	(1,332,778)	4,423,649
営業利益又は営業損失(△)	653,064	31,703	188,646	△1,734	871,679	(127,045)	744,634

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	日本 (千円)	北米 (千円)	アジア (千円)	欧州 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に 対する売上高	7,359,614	775,415	5,474,852	452,619	14,062,501	—	14,062,501
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,462,824	659	234,769	19	3,698,274	(3,698,274)	—
計	10,822,439	776,075	5,709,622	452,638	17,760,775	(3,698,274)	14,062,501
営業利益	1,850,254	62,019	552,387	33,382	2,498,043	(408,576)	2,089,467

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ

(2) アジア・・・台湾、中国、シンガポール

(3) 欧州・・・スイス

## 【海外売上高】

前第3四半期連結会計期間(自 平成22年6月1日 至 平成22年8月31日)

	北米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	240,993	1,789,211	136,967	11,728	2,178,901
II 連結売上高(千円)					4,423,649
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.5	40.4	3.1	0.3	49.3

前第3四半期連結累計期間(自 平成21年12月1日 至 平成22年8月31日)

	北米	アジア	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	734,666	6,125,158	495,372	29,027	7,384,225
II 連結売上高(千円)					14,062,501
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	5.2	43.6	3.5	0.2	52.5

(注) 1 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国または地域

(1) 北米・・・アメリカ、カナダ

(2) アジア・・・韓国、中国、台湾、シンガポール

(3) 欧州・・・スイス、イタリア、イギリス、フランス

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高であります。

## 【セグメント情報】

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行なう対象となっているものであります。

当社は、主に産業用切削工具を生産・販売しており、国内においては当社が、海外においてはアジア、米国、欧州(スイス)の各地域に適宜現地法人を設置し、それらが、それぞれ各地区を担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、生産・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「北米」および「欧州」の4つを報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第3四半期連結累計期間(自 平成22年12月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	6,536,765	5,499,416	750,222	590,461	13,376,865	—	13,376,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,330,183	221,594	253	231	3,552,261	△3,552,261	—
計	9,866,948	5,721,010	750,476	590,692	16,929,127	△3,552,261	13,376,865
セグメント利益	1,201,628	428,298	75,970	17,312	1,723,209	11,479	1,734,689

(注) 1 セグメント利益の調整額11,479千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

当第3四半期連結会計期間(自 平成23年6月1日 至 平成23年8月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額(注2)
	日本	アジア	北米	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,145,162	1,861,258	232,308	198,673	4,437,403	—	4,437,403
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,138,401	90,625	△4	△1	1,229,021	△1,229,021	—
計	3,283,563	1,951,884	232,304	198,671	5,666,424	△1,229,021	4,437,403
セグメント利益	300,563	142,224	28,687	7,051	478,526	△33,424	445,102

(注) 1 セグメント利益の調整額△33,424千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成23年7月20日付の取締役会決議に基づき、自己株式の取得を行ないました。これにより、当第3四半期連結累計期間において自己株式が828百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において4,451百万円となっております。

## 4. 補足情報

## (1) 部門別の状況

当第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年8月31日)

	切削工具事業 (千円)	その他の事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に 対する売上高	12,231,475	1,145,389	13,376,865	—	13,376,865
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	681,722	681,722	(681,722)	—
計	12,231,475	1,827,112	14,058,588	(681,722)	13,376,865
営業利益	1,635,671	305,378	1,941,049	(206,359)	1,734,689

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間(自平成22年12月1日至平成23年8月31日)

	アジア	北米	欧州	その他の地域	計
I 海外売上高(千円)	6,433,920	715,062	580,925	35,585	7,765,493
II 連結売上高(千円)					13,376,865
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	48.1	5.4	4.3	0.3	58.1

## (3) 換算為替レートと為替変動の影響試算額

(単位:円)

		US\$	EURO	NT\$	RMB
前第3四半期連結累計期間	実績	88.48	107.81	2.75	13.04
当第3四半期連結累計期間	実績	80.73	116.84	2.80	12.47
前連結会計年度	実績	83.82	114.24	2.68	12.52
当連結会計年度	公表予想値の前提	76.65	104.11	2.51	12.04

対US\$1円の円高による影響額:年間の連結売上高が140百万円減少  
年間の営業利益が9百万円減少